

# 「きっとある、あなたにできること！」 ～気がつけばボランティア～



講師：安藤 雄太氏（法政大学現代福祉学部兼任講師）

近年、各地で頻発する自然災害への対応など、予期せぬ地域課題に対して「何かできることがないか？」「何かしたい！」「何かしなければ！」と感じている方たちに向けた特別講座です。

のような「気づき」や活動を「続けること」が、やがては社会を変えて新たな力や仕組みになっていくのではないのでしょうか。

ボランティアグループや市民活動団体、町会・自治会など、参加・活動できる場所がすぐそばにあることを紹介し、一人でも多くの方が自分自身でできること、もしかしたらすでに始めているかもしれないことに気づいてもらい、身近な問題から市民活動への広がりを知ることでできる講座です。

ワークショップを通して、自分ができていることに気づき、行動への一歩を無理なく踏み出してみませんか。

開催日 平成28年8月27日（土）  
時間 午後1時30分～4時30分  
場所 JR 福生駅隣接プチギャラリー3階

ボランティアのパイオニアであり、平成三震災の復興を陣頭指揮された、安藤雄太氏（法政大学現代福祉学部兼任講師）を講師に迎え、経験に裏打ちされたエピソードを交えて、様々な角度から市民活動についてお話いただきます。

ボランティアや市民活動は、決して難しいものではありません。普段の何気ない思いや行動が、「気づけば、ボランティアだった！」ということも。こ

# カリスマ講師が伝授 ～人が集まるチラシの作り方～



講師：坂田 静香氏（NPO 法人 男女共同参画おおた理事長）

市民活動団体にとって一番の悩みは、活動がいかに関わりや人のためになる素晴らしいものであっても、発信がうまくできず活動が広がらない…ということではないでしょうか。

今回は、企画したほとんどの講座が定員オーバーになるようなチラシづくりを指導し、講座申込倍率が300%を超えた『カリスマ講師』の坂田静香氏にお話いただきます。また、講義終了後、参加者持参のチラシの講評をいただき、今後の活動に大いに役立つ内容となっています。

この機会を逃さぬよう、ぜひご参加ください。



開催日 平成28年9月25日（日）  
時間 午後2時～4時30分  
場所 輝き市民サポートセンター  
(JR 福生駅隣接プチギャラリー4階)

今回はそんな「悩み」を解消するための講座です。チラシに情報を詰め込みすぎてしまい、余計に情報を伝えられなかったり、企画力が不足して、広報PR戦略が間違っていたりすることがあります。

同じテーマでも、どのように工夫をすれば活動内容を広め、人が集まるチラシになるのか？企画する事業の日にちや時間帯をいつに設定すれば、来てもらいたい人が来てくれるのか。その手法を学びます。

# 「俳句で広がる人の和・活動の輪」 ～俳句の楽しみを知って人生に潤いとつながりを～



人と人とのつながり、地域でのネットワークづくりの場を目指している金木犀の会員から、俳句によって元気を取り戻した会員の体験談、定期的に開催している

俳句会の活動といえば、生涯学習のサークル活動として捉えがちですが、俳句会金木犀の会員は、自身の楽しみはもちろんですが、それ以上に地域に貢献する市民活動として続けていきたいと考えておられます。

地域老人ホームでのボランティア俳句会体験、福生の桜堤や昭和記念公園への吟行（俳句の題材を求めて出かけること）などの説明がありました。

俳句は、季節との関りが深く観察眼が養え、頭を使うので若返る、年齢に関係なく長く楽しめる、特別な道具などもいらない、お金がかからない、いつでもどこでもできる等の説明に、参加者の皆さんが頷いていました。



会員であり、俳句会金木犀の活動の指導者でもある沢田弥生氏から、俳句づくりの基本的な解説があり、参加者が俳句づくりを体験しました。

参加者からは「楽しみと共に行う活動と感じた。」「俳句体験ができて良かった。」「もう少し市民活動のことを聞きたかった。」「老後の楽しみの一つに加えても良いと思った。」などの声がありました。



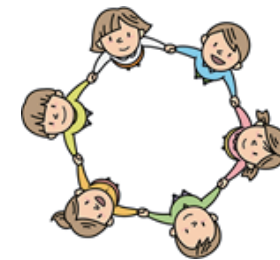
講師特選句

土手の道 かけ出してゆく 夏帽子  
竹の秋 茅葺き屋根の 薄煙り  
古民家や 風吹き抜ける 夏座敷  
さよならと 又振り返る 桐の花  
冷酒に 飲まれて眠る 今日もまた

<参加者16名 満足度4.5（5点満点）>

6月新規登録団体

# 「がんを語りましょう！」



この度「がんを語りましょう！」を立ち上げました。団体登録143番です。福生市の市民団体は何とたくさんあるのでしょうか。その一番新しい団体です。活動はこれからです。よろしくお願いします。

「がん」と言う病気に向き合わなければならなくなった方たちとおしゃべりをしたいと思いました。立ち上げた私が当事者です。互いに心を開き、話を聞き合うことを目的とします。その中で笑うこと、安心することができたらと思います。

今、日本は2人に1人が「がん患者」と言われています。その方たちが回復に向かい、希望を持ちご自分の人生を豊かに過ごしていただきたいと切実に思います。お互いに力を出し合えたらこんな嬉しいことはありません。私たちの団体の目的をご理解い

ただき市民サポートセンターを利用していただくとことになりました。さて、輝き市民サポートセンターの働きは多岐にわたり、その大切な役割を担ってこられました。10年間の事業の歩みは、生みの苦しみに安定期を過ぎし豊かな経験の時期に入っていると思います。

そして10年たった今、さらに市民団体それぞれの活動内容を把握し、理解して協力を惜しみないものとしてくださるよう願ってやみません。生き生きした市民団体の活動は底力があります。市政を動かし市民の幸せのために力を惜しみません。143番に登録した「がんを語りましょう！」の団体も元気で頑張ります。

連絡先：福岡 洋子 ☎042-554-2231